



普通科3年次  
課題地理

# ぎんざ秋まつりに参加しました

## ぎんざ秋まつりにぎわう

### 鶴岡パークレット取り入れ好評

銀座通りの魅力を伝えるイベント「ぎんざ秋まつり」が1日、鶴岡市の鶴岡銀座通りで行われた。昨年同様

いて車道の一部を行楽客の憩いの場にする「パークレット」を取り入れた。会場には大勢の市民が訪れ、出店を巡って品定めを楽しみながら気に入ったアクセサリーや創作品を買い求めている。  
パークレット・パークレットは、2010年にサンフランシスコで初めて公式に導入された。車道や停車帯にウッドデッキを置き、にぎわいと憩いの場を創出す



課題研究の一つとして温野菜を販売する鶴岡中央高校の女子高生

る。今では世界に広まり日本でも名古屋や神戸市などで導入されている。

「ぎんざ秋まつり」は鶴岡銀座商店街振興組合（鈴木裕土理事長）が商店街の楽しさを創り出そうと企画した。これまでのイベントは、通りを全面通行止めにして行ってきたが、昨年初めて「パークレット」を採用した。銀座通りの西側車線を通行できるようにして、もう一方の東側車線にはエッグトーストや唐揚げ、スイーツ、コーヒーなどの飲食店とバック、ピラス、アクセサリーといった出店が立ち並んだ。鶴岡中央高校の課題研究に取り組む女子生徒も入のお店もオープン。

ジャガイモやニンジン、ウインナーなどで仕上げた「温野菜」を販売した。  
この日は、曇一つない秋晴れとなり午前11時のオープンと同時に家族連れらでにぎわった。お店を回って品定めした女性客は「いろんな商品が並んで、見ているだけでも楽しい」と話していた。

鈴木理事長は「通りを全面通行止めにする」とどこに駐車すればいいのか探さなければならず不便、という声が上がっていた。パークレットにすると、すぐ銀座通りの駐車場に止めることができるとも便利。

気軽にイベントに立ち寄れる」と好評を得ている。歩行者の安全性を指摘する人もいるが、危険ということはない。パークレットを取り入れながら『歩くのが楽しくなる銀座通りつくり』を目指したい」と話していた。